

第5回平成屯田兵ツアーを終えて

隊長 二保 正光
副隊長 古賀 恵美子

いまや北見市においても恒例行事となった東京北見会の『平成屯田兵ツアー』も今回で第五回を数えることになりました。お蔭様で地元の方々から温かく、心から歓迎して頂きました。参加した二十七名にとって感謝、感激の二日間でした。

今回は、普段ほとんど訪れることのない常呂遺跡や昭和四十年代まで使われていた民具資料館を見学して、大変好評でした。また、手工芸の館では手形を採取し、今後手形の塔に張り出してもらったことになっており、一生残る記念も出来ました。

第一日目のバーベキューハウスでの昼食は、白石常呂総合支所長はじめ佐藤商工会会長ほか地元の方々への参加、ご協力を頂いて、ジギスカンやホタテ、行者にんにくに舌鼓を打ちました。また毎年NHK杯の会場となるカーリング場では、長野オリンピック日本代表だった大江谷氏（娘さんもチーム青森で日本代表）からストーンに触れながらご説明を受け、一同大満足でした。ところ遺跡の森では、考古学に造詣

の深い武田主幹から縄文時代からアイヌ文化の時代まで途切れることのない遺跡が残り、特に堅穴住居の数は日本最大という説明に、はるか古の時代に思いを馳せました。そして、意外に人氣を博したのが富岡小学校跡を活用した民具資料館。昭和四十年代まで実際に使われていた様々な道具や、小学生時代に使った覚えのある教材の展示はとても懐かしく、みんなそれぞれ小さかった頃の自分を思い出させてくれたようでした。

午後七時からの懇親会には、小谷市長、仁部議長他の方々「おかえりなさい」のプラカードを掲げて出迎えて頂き、一同感激の一瞬でした。会場のオホーツクビールには、一般の来店客がいらつしやるにも拘らずマイクを使用しながら懇親会が進み、出来上がったばかりの『お元氣ですか』『北見のひとよ』のポスター五種類も掲げられ、且つその楽曲を歌う我が歌手『EMIKO』が登壇し歌唱させて頂くなど破格のご配慮を頂きました。そのうえ、小谷市長も壇上に上がり一緒に合唱するというハプニングもあって大いに盛り上がりました。当日お越しかった一般のお客様には、その忍耐と偉大なる寛容さに心からのお礼を申し上げたいと思います。

二日目は、東藻琴の芝桜・・・、残念ながら三分咲きでしたが、さすがに迫力満点でした。昼食は川湯の麓亭で、摩周鯛として売出中のテラピアの刺身やマトンのしゃぶしゃぶを頂きました。摩周鯛は白身のあっさりとした食感で美味しい刺身でした。

その後は、硫黄山、砂湯、そして美幌峠を周って北見に戻りましたが、美幌峠から見た景色は絶品、また、午前中に反対側の藻琴山展望台から見た屈斜路湖の美しさと相まって、とても印象に残った視察旅行でした。

最後になりましたが、北見市役所、特に準備から最終日まで面倒をみて頂いた商工観光部の方々、フルアテンド頂いた三上係長に心から感謝いたします。そして、来年も引き続き宜しくお願いいたします。



地元の熱烈な歓迎に一同感動！！



カーリング場にて。